

令和7年4月15日

データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス入門」の受講者募集開始

総務省は、統計リテラシー向上の取組として、“データサイエンス”力の高い人材育成のため、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」を令和7年6月17日（火）から開講することとし、本日から受講者の募集を開始します。

○講座の概要

統計学の基礎や統計データの見方等、統計データ分析の基本的な知識を学習します。これからデータサイエンス力を身につけたい全ての社会人・大学生に最適な入門編講座です。

平成27年3月に開講し、これまで延べ約21万5千人に受講していただきました。

○開講期間

令和7年6月17日（火）～8月19日（火）（予定）

○受講登録

本講座紹介用ウェブサイト（<https://gacco.org/stat-japan/>）において、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御登録ください。

※ 本講座は、令和6年6月に実施した講座を再び開講するものです。

※ 受講登録は令和7年7月28日（月）までの予定です。

（別紙）

データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：辻元 吉川 平田

電話：03-5273-1023（直通）

E-mail: y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

講座の目的：統計学の基礎や統計データの見方等、統計データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用に役立てる

開講期間：令和7年6月17日（火）～8月19日（火）予定

学習時間：1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

課題：各週の確認テストと最終課題の実施

講師：安宅和人氏（慶應義塾大学環境情報学部教授）ほか



週	各週のテーマ	内容
1	統計データの活用	統計データを用いた分析事例を知り、統計リテラシーを学ぶ (大人がデータサイエンスを学ぶべき理由、統計データからわかること、統計リテラシーの重要性等)
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎を学ぶ (データの種類、代表値、分散・標準偏差、相関係数、回帰分析、標本分布等)
3	データの見方と表し方	データの見方と適切なグラフの選び方を学ぶ (比率の見方、時系列データの見方、グラフを作る時・読む時の注意点等)
4	公的データの使い方	誰もが使える公的統計データの取得方法と使い方を学ぶ (公的データの入手方法、e-Stat ^{※1} やjSTAT MAP ^{※2} の使い方、本講座のまとめ等)

※1 政府統計の総合窓口

※2 総務省統計局及び独立行政法人統計センターが運用する、各種統計データを地図上に表示し、視覚的に統計データを把握できる地理情報システム

▶ 講座の流れ

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)

統計データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開講時期)

初回開講：平成27年3月
直近の開講：令和6年6月
開講回数：21回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×6～9回程度
(1週間)×4週

(実績)

社会人を中心に延べ
約21万5千人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)

「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開講時期)

初回開講：平成28年4月
直近の開講：令和6年9月
開講回数：15回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×5～7回程度
(1週間)×5週

(実績)

社会人を中心に延べ
約9万9千人が受講

「誰でも使える統計オープンデータ」

(講座の特徴)

e-Stat（政府統計の総合窓口）等を使い、統計オープンデータの活用方法を学ぶ

(開講時期)

初回開講：平成29年6月
直近の開講：令和7年1月
開講回数：13回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×5～7回程度
(1週間)×4週

(実績)

社会人を中心に延べ
約6万2千人が受講

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座